148122

当ファンドの仕組みは次の通りです。

商品分類	追加型投信／海外／不動産投信　特化型	
信託期間	2023年６月13日まで（2013年９月20日設定）	
運用方針	ファンド・オブ・ファンズ方式により、安定したインカムゲインの確保と信託財産の成長を目指して運用を行います。	
主要運用対象	国際 アジア・リート・ファンド（通貨選択型）インドネシア・ルピアコース（毎月決算型）	アジア・リート・マスター・ファンド（ＩＤＲクラス）受益証券およびマネー・プール　マザーファンド受益証券
	アジア・リート・マスター・ファンド（ＩＤＲクラス）	シンガポール・ドルや香港ドルなど複数の通貨建の日本を除くアジア諸国・地域の金融商品取引所に上場（これに準ずるものを含みます。）している不動産投資信託（リート）等
	マネー・プール　マザーファンド	わが国の公社債
運用方法	・日本を除くアジア諸国・地域の金融商品取引所に上場（これに準ずるものを含みます。）している不動産投資信託（リート）等に投資します。 ・不動産投資信託（リート）等の安定したインカムゲインの確保と、値上がり益、および為替差益の獲得を目指します。 ・シンガポール・ドルや香港ドルなど複数の通貨建の不動産投資信託（リート）等に投資を行い（以下、不動産投資信託（リート）等の通貨のことを「原資産通貨」ということがあります。）、原則として原資産通貨について原資産通貨売り／インドネシア・ルピア買いの為替取引を行います。	
主な組入制限	・投資信託証券（上記の受益証券をいいます。）への投資割合には制限を設けません。 ・１発行体等あたりの当ファンドの純資産総額に対する比率は、原則として、25%以内とします。	
分配方針	毎月13日（休業日の場合は翌営業日）に決算を行い、収益分配方針に基づいて分配を行います。分配対象額の範囲は、経費控除後の配当等収益と売買益（評価益を含みます。）等の全額とします。基準価額水準、市況動向、残存信託期間等を勘案して、分配金額を決定します。（ただし、分配対象収益が少額の場合には分配を行わない場合もあります。）	

※当ファンドは、課税上、株式投資信託として取り扱われます。
※公募株式投資信託は税法上、「NISA（少額投資非課税制度）およびジュニアNISA（未成年者少額投資非課税制度）」の適用対象です。
詳しくは販売会社にお問い合わせください。

◆当ファンドは特化型運用を行います。一般社団法人投資信託協会は信用リスク集中回避を目的とした投資制限（分散投資規制）を設けており、投資対象に支配的な銘柄（寄与度*が10%を超える又は超える可能性の高い銘柄）が存在し、又は存在することとなる可能性が高いものを、特化型としています。
＊寄与度とは、投資対象候補銘柄の時価総額の合計額における一発行体あたりの時価総額が占める比率または運用管理等に用いる指数における一発行体あたりの構成比率を指します。
◆当ファンドは、日本を除くアジア諸国・地域の金融商品取引所に上場している不動産投資信託（リート）等に実質的に投資します。当ファンドの投資対象には支配的な銘柄が存在するため、特定の銘柄への投資が集中することがあり、当該支配的な銘柄に経営破綻や経営・財務状況の悪化が生じた場合には、大きな損失が発生することがあります。

運用報告書（全体版）

国際 アジア・リート・ファンド（通貨選択型）インドネシア・ルピアコース（毎月決算型）

第74期（決算日：2020年１月14日）
第75期（決算日：2020年２月13日）
第76期（決算日：2020年３月13日）
第77期（決算日：2020年４月13日）
第78期（決算日：2020年５月13日）
第79期（決算日：2020年６月15日）

受益者のみなさまへ

平素は格別のご愛顧を賜り厚く御礼申し上げます。

さて、お手持ちの「国際 アジア・リート・ファンド（通貨選択型）インドネシア・ルピアコース（毎月決算型）」は、去る６月15日に第79期の決算を行いましたので、法令に基づいて第74期～第79期の運用状況をまとめてご報告申し上げます。

今後とも引き続きお引き立て賜りますようお願い申し上げます。

MUFG
三菱UFJ国際投信

東京都千代田区有楽町一丁目12番１号
ホームページ　https://www.am.mufg.jp/

当運用報告書に関するお問い合わせ先
お客さま専用フリーダイヤル　０１２０－１５１０３４
（受付時間：営業日の9:00～17:00、土・日・祝日・12月31日～１月３日を除く）
お客さまのお取引内容につきましては、お取扱いの販売会社にお尋ねください。

ファンドマネージャーのコメント

当作成期（過去６ヵ月間）の運用で主眼においたポイントをご説明させていただきます。
配当利回りなどの面で相対的に投資妙味が高いと思われる銘柄を中心にポートフォリオを構築しました。

【第79期末における主なリート市場への投資比率と投資のポイント】

◎シンガポール　71.7%

シンガポール市場は、新型肺炎の影響を背景に経済成長が鈍化することが見込まれ、一部のリートでは不動産賃貸収入の減少を受けた減配の動きなどが確認できます。不動産の用途別では、小売りやホテルは観光客減少の影響を受けてリートの業績に対する不透明感が強まっているものの、足下におけるリートの価格は当該懸念を織り込んだ水準にあるとみており、また、シンガポールの国債利回りとリートの予想配当利回りの差は、投資家にとって魅力的な投資機会を提供しています。不動産の用途別では、小売りは産業構造の変化や新型肺炎の影響を背景に収益の低下が見込まれるものの、小売りリートの中では、立地条件が良好で魅力的なテナントを誘致でき、大学の周辺など一定の需要が安定的に見込める物件を保有する銘柄を選好します。オフィスは、新型肺炎の直接的な影響を相対的に受けにくいセクターだと考えています。短期的な需要の見通しについては不透明感が残るものの、長期的には広い面積を有するオフィスへの需要は底堅いとみています。産業用施設は、Ｅコマースの台頭などを背景とした需要拡大の恩恵が期待でき、オンライン・ショッピングの市場の拡大が進む中で良好な事業環境を維持できることから、今後も同国の実物不動産市場にとって重要な牽引役になるとみています。

引き続き、バリュエーションの水準に加え、リートのキャッシュフロー成長率やバランスシートの健全性に着目して銘柄選択を行います。

◎香港　27.1%

香港市場は、経済成長に対する不透明感が高まっており、リートの価格も軟調な展開が続いています。新型肺炎や反政府抗議デモなどを受けて、観光客が減少し、高級品消費やホテルの売上高が落ち込んでおり、また、香港オフィス市場に対するテナント需要が一部で後退しつつあります。一方で、生活必需品のような日常生活に必要な消費への影響は限定的とみており、地元住民の利用頻度が高いショッピングモールは底堅いとみています。香港リート市場は、大手小売りリートが時価総額で大部分を占めていますが、同リートはレストランやスーパーマーケットなどのテナントが多くを占めており、2020年６月に発表された安定的な業績は市場の参加者へ安心感を与える材料となりました。同リートが保有する香港の小売り不動産において、入居するテナントの売上高成長率は香港全体の当該成長率と比較して良好な水準を維持しており、引き続き、同リートの経営陣や不動産ポートフォリオが優れている点を評価しています。また、同地域のマクロ経済に対する過度な警戒感を背景に調整した結果、リートの価格が割安で取引されていることも注目しています。

イーストスプリング・インベストメンツ（シンガポール）リミテッド
エクイティ・インカム・チーム
ポートフォリオ・マネジャー
パーリー・ヤップ

（注）上記の投資比率はアジア・リート・マスター・ファンド全体における対純資産比率です。
（注）上記は、アジア・リート・マスター・ファンドの資料を基に、三菱ＵＦＪ国際投信が作成したものです。

本資料の表記にあたって

・原則として、各表の数量、金額の単位未満は切捨て、比率は四捨五入で表記しておりますので、表中の個々の数字の合計が合計欄の値とは一致しないことがあります。ただし、単位未満の数値については小数を表記する場合があります。
・－印は組入れまたは売買がないことを示しています。

○最近30期の運用実績

決算期	基準価額			債券組入比率	債券先物比率	投資信託証券組入比率	純資産総額
	(分配落)	税込み分配金	期中騰落率				
	円	円	%	%	%	%	百万円
50期(2018年1月15日)	10,125	100	1.9	－	－	99.0	2,338
51期(2018年2月13日)	8,955	100	△10.6	－	－	99.0	1,998
52期(2018年3月13日)	8,797	100	△ 0.6	－	－	99.0	1,908
53期(2018年4月13日)	8,724	100	0.3	－	－	99.0	1,795
54期(2018年5月14日)	8,777	100	1.8	－	－	99.0	1,806
55期(2018年6月13日)	8,786	100	1.2	－	－	99.0	1,743
56期(2018年7月13日)	8,710	100	0.3	－	－	99.0	1,660
57期(2018年8月13日)	8,568	100	△ 0.5	－	－	99.0	1,564
58期(2018年9月13日)	8,280	100	△ 2.2	－	－	99.0	1,418
59期(2018年10月15日)	7,738	100	△ 5.3	－	－	99.0	1,279
60期(2018年11月13日)	8,119	100	6.2	－	－	99.2	1,347
61期(2018年12月13日)	8,374	100	4.4	－	－	99.0	1,401
62期(2019年1月15日)	8,421	100	1.8	－	－	99.0	1,565
63期(2019年2月13日)	8,874	100	6.6	－	－	100.4	2,350
64期(2019年3月13日)	8,998	100	2.5	－	－	99.0	3,554
65期(2019年4月15日)	9,219	100	3.6	－	－	99.0	3,608
66期(2019年5月13日)	8,832	100	△ 3.1	－	－	99.0	3,324
67期(2019年6月13日)	9,028	100	3.4	－	－	99.0	3,384
68期(2019年7月16日)	9,386	100	5.1	－	－	99.0	3,505
69期(2019年8月13日)	8,737	100	△ 5.8	－	－	99.0	3,195
70期(2019年9月13日)	9,023	100	4.4	－	－	99.0	3,300
71期(2019年10月15日)	8,897	100	△ 0.3	－	－	99.0	3,247
72期(2019年11月13日)	8,661	100	△ 1.5	－	－	98.8	3,093
73期(2019年12月13日)	8,682	100	1.4	－	－	99.0	3,050
74期(2020年1月14日)	8,953	100	4.3	－	－	98.6	3,184
75期(2020年2月13日)	9,068	100	2.4	－	－	98.8	3,150
76期(2020年3月13日)	7,319	100	△18.2	－	－	98.9	2,470
77期(2020年4月13日)	5,775	100	△19.7	－	－	98.1	1,931
78期(2020年5月13日)	6,298	60	10.1	－	－	97.9	2,101
79期(2020年6月15日)	6,936	60	11.1	－	－	98.7	2,157

(注) 当ファンドの基準価額は、投資対象とする投資信託証券については、前営業日の基準価額を基に計算しております。
(注) 基準価額の騰落率は分配金込み。
(注) 当ファンドの値動きを表す適切な指数が存在しないため、ベンチマーク等はありません。
(注) 当ファンドは親投資信託を組み入れますので、「債券組入比率」、「債券先物比率」は実質比率を記載しております。
(注) 「債券先物比率」は買建比率－売建比率。

○当作成期中の基準価額と市況等の推移

決算期	年月日	基準価額		債券組入比率	債券先物比率	投資信託証券組入比率
			騰落率			
	（期　首）	円	%	%	%	%
	2019年12月13日	8,682	－	－	－	99.0
第74期	12月末	8,831	1.7	－	－	99.0
	（期　末）					
	2020年１月14日	9,053	4.3	－	－	98.6
	（期　首）					
	2020年１月14日	8,953	－	－	－	98.6
第75期	１月末	8,964	0.1	－	－	99.0
	（期　末）					
	2020年２月13日	9,168	2.4	－	－	98.8
	（期　首）					
	2020年２月13日	9,068	－	－	－	98.8
第76期	２月末	8,519	△ 6.1	－	－	98.8
	（期　末）					
	2020年３月13日	7,419	△18.2	－	－	98.9
	（期　首）					
	2020年３月13日	7,319	－	－	－	98.9
第77期	３月末	5,540	△24.3	－	－	97.9
	（期　末）					
	2020年４月13日	5,875	△19.7	－	－	98.1
	（期　首）					
	2020年４月13日	5,775	－	－	－	98.1
第78期	４月末	6,060	4.9	－	－	98.0
	（期　末）					
	2020年５月13日	6,358	10.1	－	－	97.9
	（期　首）					
	2020年５月13日	6,298	－	－	－	97.9
第79期	５月末	6,288	△ 0.2	－	－	97.1
	（期　末）					
	2020年６月15日	6,996	11.1	－	－	98.7

（注）当ファンドの基準価額は、投資対象とする投資信託証券については、前営業日の基準価額を基に計算しております。
（注）期末基準価額は分配金込み、騰落率は期首比。
（注）当ファンドは親投資信託を組み入れますので、「債券組入比率」、「債券先物比率」は実質比率を記載しております。
（注）「債券先物比率」は買建比率－売建比率。

運用経過

第74期～第79期：2019年12月14日～2020年６月15日

当作成期中の基準価額等の推移について

基準価額等の推移

第 74 期 首	8,682円
第 79 期 末	6,936円
既払分配金	520円
騰　落　率	－14.2%

（分配金再投資ベース）

※分配金再投資基準価額は、分配金が支払われた場合、収益分配金（税込み）を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンドの運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。
※実際のファンドにおいては、分配金を再投資するかどうかについては、受益者のみなさまがご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。従って、各個人の受益者のみなさまの損益の状況を示すものではない点にご留意ください。

基準価額の動き

基準価額は当作成期首に比べ14.2％（分配金再投資ベース）の下落となりました。

基準価額の主な変動要因

上昇要因

原資産通貨*売り／インドネシア・ルピア買いの為替取引によるプレミアム（金利差相当分の収益）が、基準価額のプラスに寄与しました。

＊投資を行うリート等の通貨を「原資産通貨」といいます。以下同じ。

下落要因

新型肺炎の影響懸念を受けた投資家心理の悪化などを背景に、シンガポールのリートの価格が下落したことが、基準価額のマイナスに作用しました。不動産の用途別では、相対的に景気感応度が高いホテルや小売りの銘柄が大きく下落しました。

新型肺炎を巡る混乱に加え、2020年５月下旬に中国政府が香港への統制を強化する「香港国家安全法」の制定に乗り出すと報道され、香港のリートの価格が下落したことが、基準価額のマイナスに作用しました。不動産の用途別では、同地域のリート市場で時価総額が最大級の不動産用途である小売りや、オフィスの下落が目立ちました。

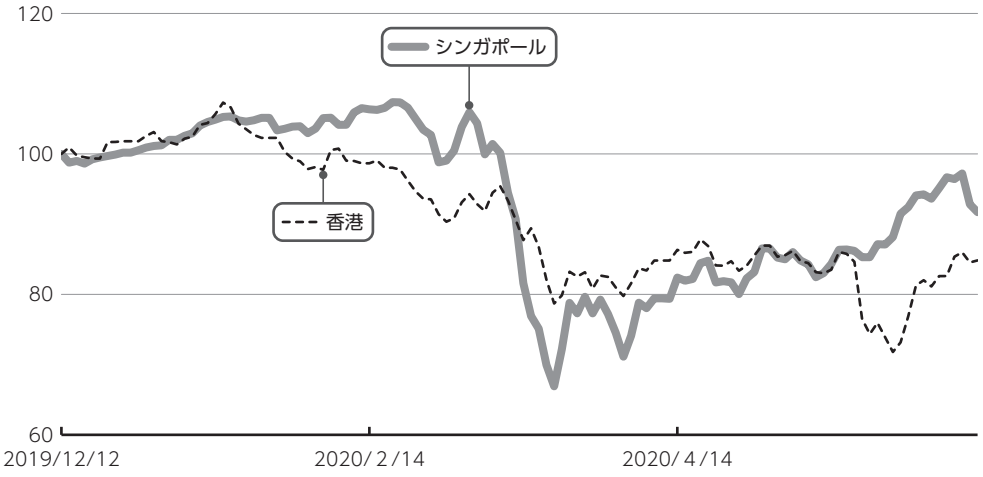
個別銘柄では、アジア・リート市場で時価総額最大級のリート銘柄である「LINK REIT（香港）」の下落や、中国本土や香港、日本で商業用不動産を手掛ける「MAPLETREE NORTH ASIA COM（シンガポール）」の下落などが、基準価額のマイナスに作用しました。

インドネシア・ルピアが円に対して下落したことが、基準価額のマイナスに作用しました。

第74期～第79期：2019年12月14日～2020年６月15日

投資環境について

アジア・リート市況の推移（当作成期首を100として指数化）



（注）グラフはＳ＆Ｐグローバル ＲＥＩＴ指数のうち、上記２ヵ国・地域の各指数（現地通貨建配当込み）を使用しています。
（注）Ｓ＆Ｐグローバル ＲＥＩＴ指数とは、Ｓ＆Ｐダウ・ジョーンズ・インデックス ＬＬＣが有する各株価指数の採用銘柄の中から、原則として不動産投資信託（ＲＥＩＴ）および同様の制度に基づく銘柄の浮動株修正時価総額に基づいて算出される指数です。同指数はＳ＆Ｐダウ・ジョーンズ・インデックス（Ｓ＆Ｐ ＤＪＩ）の商品であり、これを利用するライセンスが三菱ＵＦＪ国際投信株式会社に付与されています。Ｓ＆Ｐ ＤＪＩは、同指数の誤り、欠落、または中断に対して一切の責任を負いません。
（注）現地日付ベースで記載しております。

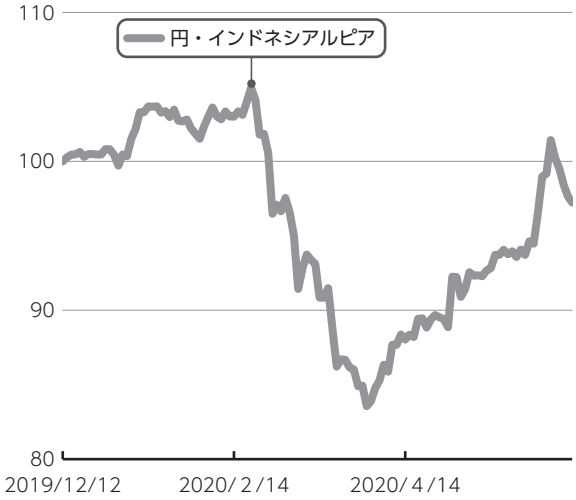
▶ アジア・リート市況

アジア・リート市場は、当作成期間を通しては下落しました。

シンガポール市場は下落しました。当作成期首から2020年２月中旬にかけては、低金利環境の持続期待などを背景に上昇基調となったものの、２月下旬から３月下旬にかけては、新型肺炎の影響懸念を背景に投資家心理が悪化し、景気感応度が高く今後の先行き不透明感が強まったホテルや小売りのリートを中心に大きく下落しました。その後は、世界経済に対する過度な警戒感が後退したことや、同国政府による景気支援策の発表などが好感され上昇したものの、作成期間を通しては下落しました。

香港市場は、新型肺炎の影響や、中国政府による国家安全法の導入を受けた投資家心理の悪化などから大きく下落しました。

為替市況の推移（当作成期首を100として指数化、対円）



（注）現地日付ベースで記載しております。

▶ 為替市況

当作成期間を通してみると、インドネシア・ルピアは対円で下落しました。

当作成期首から2020年２月中旬は、インドネシア・ルピアは対円で上昇したものの、２月下旬から３月下旬にかけては、新型肺炎の影響懸念に加え、新興国市場からの資金流出懸念や原油価格の下落などを背景に投資家心理が悪化し、インドネシア・ルピアは対円で下落しました。その後は、世界経済に対する過度な警戒感が後退したことや、４月上旬に同国の中央銀行が預金準備率を引き下げたことなどを背景に、インドネシア・ルピアは対円で上昇したものの、作成期間を通してはインドネシア・ルピアは対円で下落しました。

▶ 国内短期金融市場

無担保コール翌日物金利は０％を下回る水準で推移しました。

当作成期の短期金融市場をみると、日銀は長短金利を操作目標として金融市場調整を行いました。コール・レート（無担保・翌日物）はマイナス圏で推移し、2020年６月15日のコール・レートは－0.018%となりました。

当該投資信託のポートフォリオについて

▶国際 アジア・リート・ファンド（通貨選択型）インドネシア・ルピアコース（毎月決算型）

当作成期を通じて、円建の外国投資信託であるアジア・リート・マスター・ファンド（ＩＤＲクラス）受益証券を高位に組み入れ、マネー・プール　マザーファンド受益証券への投資も行いました。

当作成期末においては、アジア・リート・マスター・ファンド（ＩＤＲクラス）を98.7%、マネー・プール　マザーファンドを0.0%組み入れています。

▶アジア・リート・マスター・ファンド（ＩＤＲクラス）

主としてシンガポール・ドルや香港ドルなど複数の通貨建の日本を除くアジア諸国・地域の金融商品取引所に上場（これに準ずるものを含みます。）しているリート等に投資しました。

国債利回りと比較して、配当利回りに妙味があると判断した銘柄を中心に投資を行いました。

組み入れる原資産通貨に対して、原資産通貨を実質的にインドネシア・ルピア建となるように原資産通貨売り／インドネシア・ルピア買いの為替取引を行いました。

銘柄入替のポイントは以下の通りです。

売買動向

LINK REIT（香港）：香港や中国で地元住民向けのショッピング・モールなどを手掛ける当該銘柄に関して、底堅い業績やバランスシートの健全性を評価する一方で、香港の金融市場に対する投資家心理の悪化などを受けて投資口価格が下落した結果、バリュエーション面で相対的に投資妙味が増したと判断し、一部買付を行いました。

CAPITALAND MALL TRUST（シンガポール）：シンガポールでショッピング・センターを手掛ける当該銘柄に関して、投資口価格動向や業績水準等を勘案した結果、一部売却を行いました。

▶マネー・プール　マザーファンド

コール・ローン等短期金融商品を活用し、利子等収益の確保を図りました。

当該投資信託のベンチマークとの差異について

当ファンドの値動きを表す適切な指数が存在しないため、ベンチマーク等はありません。
従って、ベンチマークおよび参考指数との対比は表記できません。

分配金について

収益分配金につきましては、基準価額水準、市況動向、残存信託期間等を勘案し、次表の通りとさせていただきました。収益分配に充てなかった利益（留保益）につきましては、信託財産中に留保し、運用の基本方針に基づいて運用します。

分配原資の内訳

（単位：円、１万口当たり、税込み）

項　目	第74期 2019年12月14日～ 2020年1月14日	第75期 2020年1月15日～ 2020年2月13日	第76期 2020年2月14日～ 2020年3月13日	第77期 2020年3月14日～ 2020年4月13日	第78期 2020年4月14日～ 2020年5月13日	第79期 2020年5月14日～ 2020年6月15日
当期分配金 （対基準価額比率）	**100** (1.105%)	**100** (1.091%)	**100** (1.348%)	**100** (1.702%)	**60** (0.944%)	**60** (0.858%)
当期の収益	60	52	44	74	60	60
当期の収益以外	39	47	55	25	－	－
翌期繰越分配対象額	2,971	2,924	2,869	2,843	2,892	2,952

（注）対基準価額比率は当期分配金（税込み）の期末基準価額（分配金込み）に対する比率であり、ファンドの収益率とは異なります。

（注）当期の収益、当期の収益以外は小数点以下切捨てで算出しているため合計が当期分配金と一致しない場合があります。

今後の運用方針（作成対象期間末での見解です。）

▶国際 アジア・リート・ファンド（通貨選択型）インドネシア・ルピアコース（毎月決算型）

引き続き、円建の外国投資信託であるアジア・リート・マスター・ファンド（ＩＤＲクラス）受益証券に投資を行います。また、マネー・プール　マザーファンド受益証券への投資も行います。

▶アジア・リート・マスター・ファンド（ＩＤＲクラス）

引き続き、主としてシンガポール・ドルや香港ドルなど複数の通貨建の日本を除くアジア諸国・地域の金融商品取引所に上場（これに準ずるものを含みます。）しているリート等に投資を行います。

原則として原資産通貨について原資産通貨売り／インドネシア・ルピア買いの為替取引を行います。

ポートフォリオの構築にあたっては、市場価格が個別銘柄の適正価格を正しく反映していない結果生じている割安度合いなどを重視する方針です。

足下のアジア・リート市場は、世界の金融市場が徐々に落ち着きを取り戻す中で投資家心理が改善しつつあります。2020年２月中旬から３月の急落局面を受けて、香港リートを中心に投資妙味は高まっており、今後は財務の健全性に加え、低金利環境の持続期待がリート市場へのサポート材料になるとみています。

シンガポールに関して、不動産の用途別では、小売りやホテルの事業環境を慎重にみている一方、オフィスについては、新型肺炎の直接的な影響を受けにくく底堅いとみています。また、産業用施設は、短期的にはサプライチェーンへの影響などが懸念されるものの、中長期的にはＥコマースの台頭などを背景とした物流の需要拡大が期待されます。実物不動産市場に関しては、現時点で新型肺炎の影響を見極めることは難しいものの、中長期的には、優良オフィス不動産を中心にテナントの需要が底堅いことや、今後予定されている不動産の供給量が例年と比べて限定的であることなどから、不動産ファンダメンタルズは底堅いとみています。引き続き、配当利回りの水準が国債利回りや他のグローバル・リート市場との比較で相対的に魅力的な水準にあることなどに注目しています。

香港については、郊外に立地し生活必需品が取扱商品の中心である商業施設を主要投資対象とする銘柄を有望とみています。足下では、新型肺炎の拡大や同地域の経済成長を巡る不透明感などが、短期的に香港の小売売上高やリートの上値を抑える要因になるとみている一方、最大

手リートが保有する小売り物件は地元顧客向けのスーパーマーケット等が中心であるため、外国人観光客の落ち込みを受けた業績への影響等は相対的に限定的とみています。
引き続き、安定したインカムゲインの確保と信託財産の成長を目指した運用をする方針です。

▶マネー・プール　マザーファンド

消費者物価の前年比は依然として２％を大きく下回っており、今後も日銀による金融緩和政策が継続すると想定されることから、短期金利は引き続き低位で推移すると予想しています。以上の見通しにより、コール・ローンおよびＣＰ現先取引等への投資を通じて、安定した収益の確保をめざした運用を行う方針です。

2019年12月14日～2020年６月15日

１万口当たりの費用明細

項目	第74期～第79期 金額（円）	第74期～第79期 比率（%）	項目の概要
(a)信託報酬	48	0.638	(a)信託報酬＝作成期中の平均基準価額×信託報酬率×（作成期中の日数÷年間日数）
（投信会社）	(15)	(0.198)	ファンドの運用・調査、受託会社への運用指図、基準価額の算出、目論見書等の作成等の対価
（販売会社）	(32)	(0.424)	交付運用報告書等各種書類の送付、顧客口座の管理、購入後の情報提供等の対価
（受託会社）	(1)	(0.017)	ファンドの財産の保管および管理、委託会社からの運用指図の実行等の対価
(b)その他費用	0	0.006	(b)その他費用＝作成期中のその他費用÷作成期中の平均受益権口数
（監査費用）	(0)	(0.006)	ファンドの決算時等に監査法人から監査を受けるための費用
合計	48	0.644	

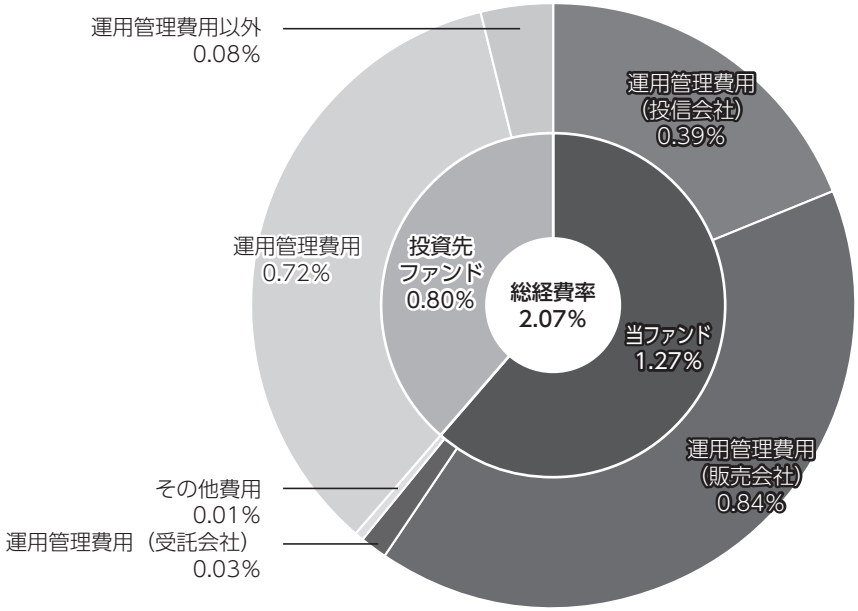
作成期中の平均基準価額は、7,462円です。

（注）作成期間の費用（消費税等のかかるものは消費税等を含む）は、追加・解約により受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。
（注）各金額は項目ごとに円未満は四捨五入してあります。
（注）その他費用は、このファンドが組み入れている親投資信託が支払った金額のうち、当ファンドに対応するものを含みます。
（注）各項目の費用は、このファンドが組み入れている投資信託証券（マザーファンドを除く。）が支払った費用を含みません。
（注）当該投資信託証券の直近の計算期末時点における「１万口当たりの費用明細」が取得できるものについては「組入れ上位ファンドの概要」に表示することとしております。
（注）各比率は１万口当たりのそれぞれの費用金額（円未満の端数を含む）を作成期間の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数第３位未満は四捨五入してあります。

（参考情報）

■総経費率

当作成対象期間の運用・管理にかかった費用の総額（原則として、募集手数料、売買委託手数料及び有価証券取引税を除く。）を作成期中の平均受益権口数に作成期中の平均基準価額（1口当たり）を乗じた数で除した**総経費率（年率）は2.07%**です。



総経費率（①+②+③）	（%）	2.07
①当ファンドの費用の比率	（%）	1.27
②投資先ファンドの運用管理費用の比率	（%）	0.72
③投資先ファンドの運用管理費用以外の比率	（%）	0.08

（注）①の費用は、1万口当たりの費用明細において用いた簡便法により算出したものです。
（注）各費用は、原則として、募集手数料、売買委託手数料及び有価証券取引税を含みません。
（注）各比率は、年率換算した値です。
（注）投資先ファンドとは、このファンドが組入れている投資信託証券（マザーファンドを除く。）です。
（注）①の費用は、マザーファンドが支払った費用を含み、投資先ファンドが支払った費用を含みません。
（注）①の費用と②③の費用は、計上された期間が異なる場合があります。
（注）前記の前提条件で算出したものです。このため、これらの値はあくまでも参考であり、実際に発生した費用の比率とは異なります。

○売買及び取引の状況

（2019年12月14日～2020年６月15日）

投資信託証券

銘柄		第74期～第79期			
		買付		売付	
		口数	金額	口数	金額
		千口	千円	千口	千円
国内	アジア・リート・マスター・ファンド（ＩＤＲクラス）	500,021	323,028	965,462	646,180

（注）金額は受渡代金。

○利害関係人との取引状況等

（2019年12月14日～2020年６月15日）

該当事項はございません。

利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第1項に規定される利害関係人です。

○組入資産の明細

（2020年６月15日現在）

ファンド・オブ・ファンズが組入れた邦貨建ファンドの明細

銘柄	第73期末	第79期末		
	口数	口数	評価額	比率
	千口	千口	千円	%
アジア・リート・マスター・ファンド（ＩＤＲクラス）	3,889,687	3,424,246	2,129,196	98.7
合計	3,889,687	3,424,246	2,129,196	98.7

（注）比率は国際 アジア・リート・ファンド（通貨選択型）インドネシア・ルピアコース（毎月決算型）の純資産総額に対する比率。

親投資信託残高

銘柄	第73期末	第79期末	
	口数	口数	評価額
	千口	千口	千円
マネー・プール　マザーファンド	99	99	100

○投資信託財産の構成

（2020年６月15日現在）

項　　目	第79期末	
	評　価　額	比　率
	千円	%
投資信託受益証券	2,129,196	95.5
マネー・プール　マザーファンド	100	0.0
コール・ローン等、その他	101,363	4.5
投資信託財産総額	2,230,659	100.0

○資産、負債、元本及び基準価額の状況

項　　目	第74期末	第75期末	第76期末	第77期末	第78期末	第79期末
	2020年１月14日現在	2020年２月13日現在	2020年３月13日現在	2020年４月13日現在	2020年５月13日現在	2020年６月15日現在
	円	円	円	円	円	円
(A)　資産	**3,234,057,049**	**3,221,176,171**	**2,566,554,451**	**1,967,625,140**	**2,135,408,367**	**2,230,659,163**
コール・ローン等	79,199,719	81,633,550	106,806,135	70,586,833	71,017,253	77,242,976
投資信託受益証券(評価額)	3,139,297,320	3,113,262,611	2,444,278,306	1,894,628,297	2,056,471,104	2,129,196,177
マネー・プール　マザーファンド(評価額)	100,010	100,010	100,010	100,010	100,010	100,010
未収入金	15,460,000	26,180,000	15,370,000	2,310,000	7,820,000	24,120,000
(B)　負債	**49,835,440**	**70,988,364**	**96,103,083**	**36,000,015**	**34,077,176**	**72,855,386**
未払金	－	－	－	450,000	－	－
未払収益分配金	35,564,635	34,738,661	33,752,867	33,448,995	20,019,296	18,665,790
未払解約金	10,844,597	32,942,568	59,384,809	－	11,918,564	51,720,329
未払信託報酬	3,396,109	3,278,121	2,939,211	2,082,556	2,120,502	2,447,575
未払利息	53	13	194	44	56	43
その他未払費用	30,046	29,001	26,002	18,420	18,758	21,649
(C)　純資産総額(Ａ－Ｂ)	**3,184,221,609**	**3,150,187,807**	**2,470,451,368**	**1,931,625,125**	**2,101,331,191**	**2,157,803,777**
元本	3,556,463,521	3,473,866,177	3,375,286,741	3,344,899,526	3,336,549,382	3,110,965,040
次期繰越損益金	△　372,241,912	△　323,678,370	△　904,835,373	△1,413,274,401	△1,235,218,191	△　953,161,263
(D)　受益権総口数	**3,556,463,521口**	**3,473,866,177口**	**3,375,286,741口**	**3,344,899,526口**	**3,336,549,382口**	**3,110,965,040口**
１万口当たり基準価額(Ｃ／Ｄ)	**8,953円**	**9,068円**	**7,319円**	**5,775円**	**6,298円**	**6,936円**

○損益の状況

項　　目	第74期	第75期	第76期	第77期	第78期	第79期
	2019年12月14日～2020年１月14日	2020年１月15日～2020年２月13日	2020年２月14日～2020年３月13日	2020年３月14日～2020年４月13日	2020年４月14日～2020年５月13日	2020年５月14日～2020年６月15日
	円	円	円	円	円	円
(A) 配当等収益	**22,170,319**	**19,143,139**	**18,143,652**	**26,875,316**	**36,732,597**	**37,759,246**
受取配当金	22,172,166	19,143,644	18,144,696	26,876,896	36,733,945	37,761,732
受取利息	－	21	－	65	26	25
支払利息	△ 1,847	△ 526	△ 1,044	△ 1,645	△ 1,374	△ 2,511
(B) 有価証券売買損益	**113,462,633**	**58,823,159**	**Δ 569,607,198**	**Δ 507,866,760**	**159,943,193**	**181,917,234**
売買益	140,068,416	119,553,633	11,253,302	5,655,162	177,324,318	228,747,825
売買損	△ 26,605,783	△ 60,730,474	△ 580,860,500	△ 513,521,922	△ 17,381,125	△ 46,830,591
(C) 信託報酬等	**Δ 3,426,155**	**Δ 3,307,122**	**Δ 2,965,213**	**Δ 2,100,976**	**Δ 2,139,260**	**Δ 2,469,224**
(D) 当期損益金（Ａ＋Ｂ＋Ｃ）	**132,206,797**	**74,659,176**	**Δ 554,428,759**	**Δ 483,092,420**	**194,536,530**	**217,207,256**
(E) 前期繰越損益金	**Δ 127,115,213**	**Δ 29,688,485**	**9,785,632**	**Δ 571,078,599**	**Δ1,077,284,076**	**Δ 839,340,735**
(F) 追加信託差損益金	**Δ 341,768,861**	**Δ 333,910,400**	**Δ 326,439,379**	**Δ 325,654,387**	**Δ 332,451,349**	**Δ 312,361,994**
（配当等相当額）	(1,013,137,306)	(989,718,804)	(962,087,665)	(953,451,584)	(948,737,795)	(884,636,249)
（売買損益相当額）	(△1,354,906,167)	(△1,323,629,204)	(△1,288,527,044)	(△1,279,105,971)	(△1,281,189,144)	(△1,196,998,243)
(G) 計（Ｄ＋Ｅ＋Ｆ）	**Δ 336,677,277**	**Δ 288,939,709**	**Δ 871,082,506**	**Δ1,379,825,406**	**Δ1,215,198,895**	**Δ 934,495,473**
(H) 収益分配金	**Δ 35,564,635**	**Δ 34,738,661**	**Δ 33,752,867**	**Δ 33,448,995**	**Δ 20,019,296**	**Δ 18,665,790**
次期繰越損益金（Ｇ＋Ｈ）	**Δ 372,241,912**	**Δ 323,678,370**	**Δ 904,835,373**	**Δ1,413,274,401**	**Δ1,235,218,191**	**Δ 953,161,263**
追加信託差損益金	△ 341,768,861	△ 333,910,400	△ 326,439,379	△ 327,995,817	△ 332,451,349	△ 312,361,994
（配当等相当額）	(1,013,137,306)	(989,718,804)	(962,087,665)	(951,110,154)	(948,737,795)	(884,636,249)
（売買損益相当額）	(△1,354,906,167)	(△1,323,629,204)	(△1,288,527,044)	(△1,279,105,971)	(△1,281,189,144)	(△1,196,998,243)
分配準備積立金	43,679,594	26,147,590	6,432,412	17,809	16,331,365	33,852,960
繰越損益金	△ 74,152,645	△ 15,915,560	△ 584,828,406	△1,085,296,393	△ 919,098,207	△ 674,652,229

（注）**(B)有価証券売買損益**は各期末の評価換えによるものを含みます。
（注）**(C)信託報酬等**には信託報酬に対する消費税等相当額を含めて表示しています。
（注）**(F)追加信託差損益金**とあるのは、信託の追加設定の際、追加設定をした価額から元本を差し引いた差額分をいいます。

＜注記事項＞
①作成期首（前作成期末）元本額　3,514,065,443円
　作成期中追加設定元本額　191,789,418円
　作成期中一部解約元本額　594,889,821円
　また、１口当たり純資産額は、作成期末0.6936円です。
②純資産総額が元本額を下回っており、その差額は953,161,263円です。
③分配金の計算過程

項　　目	2019年12月14日～2020年１月14日	2020年１月15日～2020年２月13日	2020年２月14日～2020年３月13日	2020年３月14日～2020年４月13日	2020年４月14日～2020年５月13日	2020年５月14日～2020年６月15日
費用控除後の配当等収益額	21,610,143円	18,331,241円	15,178,439円	24,774,340円	36,332,983円	37,334,786円
費用控除後・繰越欠損金補填後の有価証券売買等損益額	－円	－円	－円	－円	－円	－円
収益調整金額	1,013,137,306円	989,718,804円	962,087,665円	953,451,584円	948,737,795円	884,636,249円
分配準備積立金額	57,634,086円	42,555,010円	25,006,840円	6,351,034円	17,678円	15,183,964円
当ファンドの分配対象収益額	1,092,381,535円	1,050,605,055円	1,002,272,944円	984,576,958円	985,088,456円	937,154,999円
１万口当たり収益分配対象額	3,071円	3,024円	2,969円	2,943円	2,952円	3,012円
１万口当たり分配金額	100円	100円	100円	100円	60円	60円
収益分配金金額	35,564,635円	34,738,661円	33,752,867円	33,448,995円	20,019,296円	18,665,790円

○分配金のお知らせ

	第74期	第75期	第76期	第77期	第78期	第79期
１万口当たり分配金（税込み）	100円	100円	100円	100円	60円	60円

◆分配金は各決算日から起算して５営業日までにお支払いを開始しております。
◆分配金を再投資される方のお手取分配金は、各決算日現在の基準価額に基づいて、みなさまの口座に繰り入れて再投資いたしました。
◆課税上の取り扱い

・分配金は、分配後の基準価額と個々の受益者の個別元本との差により、課税扱いとなる「普通分配金」と、非課税扱いとなる「元本払戻金（特別分配金）」に分かれます。
・分配後の基準価額が個別元本と同額または上回る場合は、全額が普通分配金となります。分配後の基準価額が個別元本を下回る場合には、下回る部分の額が元本払戻金（特別分配金）となり、残りの額が普通分配金となります。
・元本払戻金（特別分配金）が発生した場合は、分配金発生時に個々の受益者の個別元本から当該元本払戻金（特別分配金）を控除した額が、その後の個々の受益者の個別元本となります。
・個人受益者が支払いを受ける収益分配金のうち普通分配金については配当所得として課税され、原則として、20.315％（所得税15％、復興特別所得税0.315％、地方税５％）の税率で源泉徴収（申告不要）されます。確定申告を行い、総合課税・申告分離課税を選択することもできます。
・2020年１月１日以降の分配時において、外国税控除の適用となった場合には、分配時の税金が上記と異なる場合があります。

※法人受益者に対する課税は異なります。
※課税上の取扱いの詳細については、税務専門家等にご確認されることをお勧めします。
※税法が改正された場合等には、上記内容が変更になることがあります。
※NISAおよびジュニアNISAをご利用の場合、毎年、一定額の範囲で新たに購入した公募株式投資信託などから生じる配当所得および譲渡所得が一定期間非課税となります。

＊三菱ＵＦＪ国際投信では本資料のほかに当ファンドに関する情報等の開示を行っている場合があります。詳しくは、取り扱い販売会社にお問い合わせいただくか、当社ホームページ（https://www.am.mufg.jp/）をご覧ください。

〈参考〉投資する投資信託証券およびその概要

当ファンドは、国際 アジア・リート・ファンド（通貨選択型）インドネシア・ルピアコース（毎月決算型）が投資対象とする円建の外国投資信託証券です。

■当ファンドの仕組みは次の通りです。

名　　称	アジア・リート・マスター・ファンド（ＩＤＲクラス）
運用方針及び投資制限	１．日本を除くアジア諸国・地域の金融商品取引所に上場（これに準ずるものを含みます。）している不動産投資信託（リート）等に投資を行います。 ・不動産投資信託（リート）等の組入比率は原則として高位を保ちます。 ２．シンガポール・ドルや香港ドルなど複数の通貨建の不動産投資信託（リート）等に投資を行います（以下、投資先ファンドが投資を行う不動産投資信託（リート）等の通貨のことを「原資産通貨」ということがあります。）。アジア・リート・マスター・ファンド（ＩＤＲクラス）における為替取引は、原則として原資産通貨について原資産通貨売り／インドネシア・ルピア買いの為替取引を行います。 ３．投資対象国・地域における非常事態（金融危機、デフォルト、重大な政策変更や資産凍結を含む規制の導入、自然災害、クーデターや重大な政治体制の変更、戦争等の場合をいいます。）の発生を含む市況動向や資金動向、残存信託期間等の事情によっては、前記のような運用ができない場合があります。 ４．１発行体等あたりの純資産総額に対する比率は、原則として、25%以内とします。
投資顧問会社	イーストスプリング・インベストメンツ（シンガポール）リミテッド （Eastspring Investments (Singapore) Limited）
信　託　期　限	無期限
設　　定　　日	2013年９月20日
会　計　年　度　末	毎年８月末
収　益　分　配	原則として、毎月分配を行います。

「イーストスプリング・インベストメンツ（シンガポール）リミテッド」について
イーストスプリング・インベストメンツ（シンガポール）リミテッドは、1994年10月にシンガポールにおいて設立された運用会社です。グローバルに金融サービスを展開する英国プルーデンシャル社のアジアにおける資産運用事業部門であるイーストスプリング・インベストメンツ・グループに所属しており、グループ内のアジア各国・地域の運用会社と連携して運用を行っています。

アジア・リート・マスター・ファンド
損益計算書、純資産変動計算書、投資明細表は、入手可能なFinancial Statementsから抜粋し、編集および一部翻訳したものです。

１．損益計算書

（2019年８月30日に終了する期間）

（米ドルで表示）

投資収益		
受取配当金（源泉徴収税控除後）	$	53,987,983
受取利息		4,193
投資収益合計		53,992,176
費用		
運用受託報酬		6,344,254
会計処理および管理手数料		967,674
通貨管理代行手数料		778,563
保管費用		716,745
名義書換事務代行手数料		129,918
専門家報酬		39,357
受託者報酬		23,145
登録料		2,231
その他の手数料		3,461
費用合計		9,005,348
投資純利益		44,986,828
実現および未実現損益：		
実現損益：		
投資有価証券		57,040,563
外国通貨取引および為替予約取引		37,028,659
実現純損益		94,069,222
未実現評価損益の純変動：		
投資有価証券		51,696,125
外国通貨取引および為替予約取引		6,862,861
未実現評価損益の純変動		58,558,986
実現および未実現損益（純額）		152,628,208
運用による純資産の増減（純額）	$	197,615,036

（注）（ ）内の金額は、マイナスの金額です。

２．純資産変動計算書

（2019年８月30日に終了する期間）

（米ドルで表示）

運用による純資産の増減額：		
投資純損益	$	44,986,828
実現純損益		94,069,222
未実現評価損益の純変動		58,558,986
運用による純資産の増減額		197,615,036
分配額		(162,120,283)
ファンドユニットの取引による純資産の増減額		525,552,095
純資産の増減額		561,046,848
純資産		
期首		783,498,660
期末	$	1,344,545,508

		IDRクラス		INRクラス		JPYクラス
ファンドユニット取引						
ユニット数						
発行		2,690,823,195		75,294,898,734		4,503,801,464
買戻し		392,093,731		20,321,689,490		543,173,539
償還		(981,503,966)		(44,245,491,329)		(1,300,071,518)
ユニット増減数		2,101,412,960		51,371,096,895		3,746,903,485
金額						
発行	$	18,709,748	$	477,002,806	$	33,107,008
買戻し		2,718,813		132,309,105		4,079,548
償還		(6,832,681)		(285,204,134)		(9,625,099)
ファンドユニット取引による増減額	$	14,595,880	$	324,107,777	$	27,561,457

		Local Currency クラス
ファンドユニット取引		
ユニット数		
発行		19,827,232,728
買戻し		2,614,298,482
償還		(4,226,040,857)
ユニット増減数		18,215,490,353
金額		
発行	$	173,196,277
買戻し		23,012,817
償還		(36,922,113)
ファンドユニット取引による増減額	$	159,286,981

（注）（ ）内の金額は、マイナスの金額です。

３．投資明細表

（2019年８月30日現在）

（米ドルで表示）

投資口数	銘柄名	純資産比率		公正価値
	COMMON STOCKS (97.0%)			
	HONG KONG (18.4%)			
	REITS* (18.4%)			
33,554,000	Champion		$	22,611,003
40,056,000	Fortune			46,009,942
14,783,000	Link			166,030,107
33,101,000	Prosperity			12,293,504
				246,944,556
	TOTAL HONG KONG (Cost $230,132,307)			246,944,556
	MALAYSIA (1.9%)			
	REITS* (1.9%)			
26,285,900	Pavilion			11,688,178
30,908,300	Sunway			14,331,515
				26,019,693
	TOTAL MALAYSIA (Cost $24,692,417)			26,019,693
	SINGAPORE (76.7%)			
	REITS* (76.7%)			
59,957,686	Ascendas			133,124,043
15,601,000	Ascendas India Trust			16,082,346
25,772,800	Ascott Residence Trust			24,152,710
44,535,716	Cache Logistics Trust			22,954,900
64,591,446	CapitaLand Commercial Trust			99,178,042
67,017,900	CapitaMall Trust			128,025,833
36,642,674	CapitaRetail China Trust			40,943,011
33,142,020	CDL Hospitality Trusts Class Miscella			38,226,090
21,339,000	Eagle Hospitality Trust			14,403,825
26,850,439	ESR			9,871,485
13,151,284	Frasers Centrepoint Trust			26,071,245
45,408,860	Frasers Logistics & Industrial Trust			39,935,704
46,005,031	Keppel			40,791,658
54,116,982	Manulife US			49,246,454
22,236,270	Mapletree Commercial Trust			36,547,503
21,469,888	Mapletree Industrial Trust			35,752,192
49,447,637	Mapletree Logistics Trust			55,963,661
66,469,800	Mapletree North Asia Commercial Trust			63,249,810
62,176,319	OUE Hospitality Trust Class Miscella			32,719,660
9,139,800	Parkway Life			20,358,984
49,119,100	Starhill Global			26,556,607
55,549,500	Suntec			77,285,564
				1,031,441,327
	TOTAL SINGAPORE (Cost $955,037,364)			1,031,441,327
	TOTAL COMMON STOCKS (Cost $1,209,862,088)		**$**	**1,304,405,576**
	TOTAL INVESTMENTS (Cost $1,209,862,088)	**97.0%**	**$**	**1,304,405,576**
	CASH AND OTHER ASSETS IN EXCESS OF LIABILITIES	**3.0**		**40,139,932**
	NET ASSETS	**100.0%**	**$**	**1,344,545,508**

* REITS — Real Estate Investment Trust

（2019年８月30日現在）

ＩＤＲクラスにおける為替予約取引

取得	取引相手	契約額	決済日	売却	契約額	未実現評価益	未実現評価損	未実現評価損益（純額）
HKD	Credit Suisse AG	5,545	09/30/2019	USD	707	$ 1	$ –	$ 1
HKD	Credit Suisse AG	8,417	09/30/2019	USD	1,075	–	(1)	(1)
IDR	Credit Suisse AG	36,513,204	09/30/2019	USD	2,554	13	–	13
IDR	Credit Suisse AG	8,105,404	09/30/2019	USD	567	2	–	2
IDR	Credit Suisse AG	428,780,127,542	09/30/2019	USD	30,053,480	87,761	–	87,761
IDR	Credit Suisse AG	6,758,808	09/30/2019	USD	473	2	–	2
SGD	Credit Suisse AG	3,634	09/30/2019	USD	2,623	–	(3)	(3)
SGD	Credit Suisse AG	5,524	09/30/2019	USD	3,989	–	(6)	(6)
USD	Brown Brothers Harriman & Co.	559,184	09/30/2019	MYR	2,355,116	–	(542)	(542)
USD	Credit Suisse AG	5,446	09/30/2019	IDR	77,684,604	–	(15)	(15)
USD	Credit Suisse AG	3,582	09/30/2019	IDR	51,322,116	–	(26)	(26)
USD	Credit Suisse AG	93	09/30/2019	HKD	733	–	–	–*
USD	Credit Suisse AG	5,935,562	09/30/2019	HKD	46,552,644	–	(6,112)	(6,112)
USD	Credit Suisse AG	112	09/30/2019	HKD	880	–	–	–*
USD	Credit Suisse AG	346	09/30/2019	SGD	481	–	(1)	(1)
USD	Credit Suisse AG	1,871	09/30/2019	SGD	2,598	–	(3)	(3)
USD	Credit Suisse AG	416	09/30/2019	SGD	577	–	(1)	(1)
USD	Credit Suisse AG	22,014,174	09/30/2019	SGD	30,483,335	32,908	–	32,908
USD	Credit Suisse AG	504	09/30/2019	HKD	3,959	–	(1)	(1)
						$ 120,687	$ (6,711)	$ 113,976

ＩＮＲクラスにおける為替予約取引

取得	取引相手	契約額	決済日	売却	契約額	未実現評価益	未実現評価損	未実現評価損益（純額）
HKD	Credit Suisse AG	1,380,331	09/30/2019	USD	176,114	$ 63	$ –	$ 63
HKD	Credit Suisse AG	741,397	09/30/2019	USD	94,735	–	(108)	(108)
HKD	Credit Suisse AG	961,523	09/30/2019	USD	122,651	71	–	71
HKD	Credit Suisse AG	543,076	09/30/2019	USD	69,283	32	–	32
HKD	Credit Suisse AG	828,492	09/30/2019	USD	105,698	45	–	45
INR	Credit Suisse AG	79,996,194,858	09/30/2019	USD	1,111,552,231	5,602,827	–	5,602,827
SGD	Credit Suisse AG	630,168	09/30/2019	USD	454,896	–	(487)	(487)
SGD	Credit Suisse AG	905,747	09/30/2019	USD	653,182	–	(55)	(55)
SGD	Credit Suisse AG	356,353	09/30/2019	USD	256,960	2	–	2
SGD	Credit Suisse AG	543,420	09/30/2019	USD	392,020	–	(165)	(165)
SGD	Credit Suisse AG	486,568	09/30/2019	USD	351,361	–	(500)	(500)
USD	Brown Brothers Harriman & Co.	20,309,955	09/30/2019	MYR	85,539,438	–	(19,694)	(19,694)
USD	Credit Suisse AG	814,212,009	09/30/2019	SGD	1,127,450,744	1,217,120	–	1,217,120
USD	Credit Suisse AG	219,531,566	09/30/2019	HKD	1,721,787,112	–	(226,055)	(226,055)
USD	Credit Suisse AG	350,799	09/30/2019	INR	25,218,516	–	(1,380)	(1,380)
USD	Credit Suisse AG	891,716	09/30/2019	INR	64,380,471	–	(7,364)	(7,364)
USD	Credit Suisse AG	621,018	09/30/2019	INR	44,795,848	–	(4,561)	(4,561)
USD	Credit Suisse AG	479,673	09/30/2019	INR	34,521,705	–	(2,426)	(2,426)
USD	Credit Suisse AG	535,181	09/30/2019	INR	38,679,384	–	(4,981)	(4,981)
						$ 6,820,160	$ (267,776)	$ 6,552,384

（2019年８月30日現在）

ＪＰＹクラスにおける為替予約取引

取得	取引相手	契約額	決済日	売却	契約額	未実現評価益	未実現評価損	未実現評価損益（純額）
HKD	Credit Suisse AG	8,272	09/30/2019	USD	1,057	$ –	$ (1)	$ (1)
HKD	Credit Suisse AG	91,059	09/30/2019	USD	11,615	7	–	7
HKD	Credit Suisse AG	997,275	09/30/2019	USD	127,227	58	–	58
HKD	Credit Suisse AG	399,093	09/30/2019	USD	50,916	22	–	22
JPY	Credit Suisse AG	4,533,833,799	09/30/2019	USD	42,889,091	–	(93,279)	(93,279)
JPY	Credit Suisse AG	4,464,649	09/30/2019	USD	42,274	–	(131)	(131)
SGD	Credit Suisse AG	59,679	09/30/2019	USD	43,080	–	(46)	(46)
SGD	Credit Suisse AG	5,429	09/30/2019	USD	3,920	–	(6)	(6)
SGD	Credit Suisse AG	261,771	09/30/2019	USD	188,840	–	(79)	(79)
SGD	Credit Suisse AG	654,386	09/30/2019	USD	471,868	4	–	4
USD	Brown Brothers Harriman & Co.	819,672	09/30/2019	MYR	3,452,214	$ –	$ (795)	$ (795)
USD	Credit Suisse AG	8,470,595	09/30/2019	HKD	66,434,920	–	(8,722)	(8,722)
USD	Credit Suisse AG	257,802	09/30/2019	JPY	27,271,840	378	–	378
USD	Credit Suisse AG	31,416,259	09/30/2019	SGD	43,502,533	46,962	–	46,962
USD	Credit Suisse AG	8,349	09/30/2019	HKD	65,535	–	(15)	(15)
USD	Credit Suisse AG	5,352	09/30/2019	JPY	568,219	–	(12)	(12)
USD	Credit Suisse AG	58,812	09/30/2019	JPY	6,252,023	–	(202)	(202)
USD	Credit Suisse AG	644,188	09/30/2019	JPY	68,112,982	1,255	–	1,255
USD	Credit Suisse AG	30,965	09/30/2019	SGD	43,013	–	(51)	(51)
						$ 48,686	$ (103,339)	$ (54,653)

*Net Unrealized Gain/(Loss) is less than $1.

デリバティブ商品の額

	取引相手	デリバティブ資産の額	デリバティブ負債の額	受取担保金*	差入担保金*	純額**
店頭デリバティブ 為替予約						
	Brown Brothers Harriman & Co.	$ –	$ (21,031)	$ –	$ –	$ (21,031)
	Credit Suisse AG	6,989,533	(356,795)	–	–	6,632,738
マスターネッティング契約の対象となるデリバティブ合計		$ 6,989,533	$ (377,826)	$ –	$ –	$ 6,611,707
資産および負債における店頭デリバティブ合計		$ 6,989,533	$ (377,826)			

* Actual collateral received or pledged, if any, may be more than disclosed in the table above.

** Net represents the receivable/(payable) that would be due from/(to) the counterparty in an event of default. Netting is allowed across transactions traded under the same legal agreement with the same legal entity.

通貨略称

HKD	-	Hong Kong Dollar
IDR	-	Indonesian Rupiah
INR	-	Indian Rupee
JPY	-	Japanese Yen
MYR	-	Malaysian Ringgit
SGD	-	Singapore Dollar
USD	-	United States Dollar

マネー・プール　マザーファンド

《第21期》決算日2020年１月14日

［計算期間：2019年７月17日～2020年１月14日］

「マネー・プール　マザーファンド」は、１月14日に第21期の決算を行いました。
以下、法令・諸規則に基づき、当マザーファンドの第21期の運用状況をご報告申し上げます。

運用方針	わが国の公社債に投資し、安定した収益の確保を目指して運用を行います。
主要運用対象	わが国の公社債
主な組入制限	外貨建資産への投資は行いません。

○最近５期の運用実績

決算期	基準価額		債券組入比率	債券先物比率	純資産総額
		期中騰落率			
	円	%	%	%	百万円
17期(2018年１月15日)	10,046	0.0	－	－	707
18期(2018年７月17日)	10,044	△0.0	－	－	210
19期(2019年１月15日)	10,043	△0.0	－	－	159
20期(2019年７月16日)	10,042	△0.0	－	－	147
21期(2020年１月14日)	10,041	△0.0	－	－	130

(注) 当ファンドの値動きを表す適切な指数が存在しないため、ベンチマーク等はありません。
(注) 「債券先物比率」は買建比率－売建比率。

○当期中の基準価額と市況等の推移

年月日	基準価額		債券組入比率	債券先物比率
		騰落率		
(期　首)	円	%	%	%
2019年７月16日	10,042	－	－	－
７月末	10,042	0.0	－	－
８月末	10,042	0.0	－	－
９月末	10,041	△0.0	－	－
10月末	10,041	△0.0	－	－
11月末	10,041	△0.0	－	－
12月末	10,041	△0.0	－	－
(期　末)				
2020年１月14日	10,041	△0.0	－	－

(注) 騰落率は期首比。
(注) 「債券先物比率」は買建比率－売建比率。

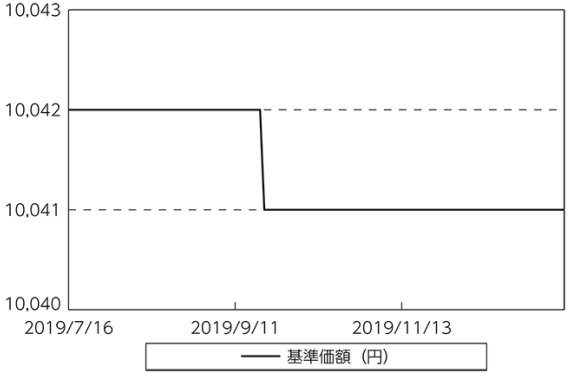
○運用経過

●当期中の基準価額等の推移について

◎基準価額の動き

基準価額は期首に比べ0.01%の下落となりました。

基準価額等の推移



●基準価額の主な変動要因

（下落要因）

運用資金に対するマイナス金利適用が、基準価額にマイナスに作用しました。

●投資環境について

◎国内短期金融市場

無担保コール翌日物金利は０％を下回る水準で推移、国庫短期証券（３ヵ月物）の利回りはマイナス0.1%を下回る水準で推移しました。

・日銀による金融緩和政策の影響を受けて、無担保コール翌日物金利は０％を下回る水準で推移し、足下ではマイナス0.03%程度で推移しました。
・日銀による短期国債の買入れなどから、国庫短期証券（３ヵ月物）の利回りはマイナス0.1%を下回る水準で推移しました。期首からマイナス0.15%前後で推移していましたが、2019年９月末に需給の引き締まりによりマイナス0.4%まで低下しました。その後上昇し、足下はマイナス0.12%程度で推移しました。

●当該投資信託のポートフォリオについて

・わが国のコール・ローンおよびＣＰ現先取引等への投資を通じて、安定した収益の確保および適正な流動性の保持を図りました。

○今後の運用方針

・物価は緩やかに上昇していくと予想していますが、日銀の物価目標である２%には届かないと思われます。したがって、今後も金融緩和政策が継続すると想定されることから、短期金利は低位で推移すると予想しています。以上の見通しにより、わが国の国債や短期国債（国庫短期証券）現先取引、コール・ローンおよびＣＰ現先取引等への投資を通じて、安定した収益の確保や常時適正な流動性の保持をめざした運用を行う方針です。

○１万口当たりの費用明細

（2019年７月17日～2020年１月14日）

該当事項はございません。

○売買及び取引の状況

（2019年７月17日～2020年１月14日）

その他有価証券

		買付額	売付額
		千円	千円
国内	コマーシャル・ペーパー	11,899,993	11,899,993

（注）金額は受渡代金。

○利害関係人との取引状況等

（2019年７月17日～2020年１月14日）

該当事項はございません。

利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第1項に規定される利害関係人です。

○組入資産の明細

（2020年１月14日現在）

国内その他有価証券

区分	当期末	
	評価額	比率
	千円	%
コマーシャル・ペーパー	99,999	76.5

（注）比率は、純資産総額に対する評価額の割合。

○投資信託財産の構成

（2020年１月14日現在）

項目	当期末	
	評価額	比率
	千円	%
その他有価証券	99,999	76.5
コール・ローン等、その他	30,740	23.5
投資信託財産総額	130,739	100.0

○資産、負債、元本及び基準価額の状況 (2020年１月14日現在)

項　　目	当 期 末
	円
(A) 資産	130,739,390
コール・ローン等	30,739,441
その他有価証券(評価額)	99,999,949
(B) 負債	29,454
未払解約金	29,434
未払利息	20
(C) 純資産総額(Ａ－Ｂ)	130,709,936
元本	130,172,909
次期繰越損益金	537,027
(D) 受益権総口数	130,172,909口
１万口当たり基準価額(Ｃ／Ｄ)	10,041円

＜注記事項＞

①期首元本額　146,998,909円
　期中追加設定元本額　6,285,241円
　期中一部解約元本額　23,111,241円
　また、１口当たり純資産額は、期末1.0041円です。

○損益の状況 (2019年７月17日～2020年１月14日)

項　　目	当　　期
	円
(A) 配当等収益	△ 8,468
受取利息	484
支払利息	△ 8,952
(B) 当期損益金(Ａ)	△ 8,468
(C) 前期繰越損益金	615,682
(D) 追加信託差損益金	25,915
(E) 解約差損益金	△ 96,102
(F) 計(Ｂ＋Ｃ＋Ｄ＋Ｅ)	537,027
次期繰越損益金(Ｆ)	537,027

(注) (D)追加信託差損益金とあるのは、信託の追加設定の際、追加設定をした価額から元本を差し引いた差額分をいいます。
(注) (E)解約差損益金とあるのは、中途解約の際、元本から解約価額を差し引いた差額分をいいます。

②期末における元本の内訳（当親投資信託を投資対象とする投資信託ごとの元本額）

マネー・プール・ファンドVI	66,413,629円
米国ハイ・イールド債オープン（通貨選択型）ブラジル・レアルコース（毎月決算型）	15,855,020円
米国ハイ・イールド債オープン（通貨選択型）マネー・プール・ファンドV（年２回決算型）	9,345,632円
世界投資適格債オープン（通貨選択型）マネー・プール・ファンドII（年２回決算型）	6,979,867円
国際・キャピタル 日本株式オープン（通貨選択型）マネー・プール・ファンドX（年２回決算型）	5,192,074円
世界投資適格債オープン（通貨選択型）円コース（毎月決算型）	5,154,901円
米国ハイ・イールド債オープン（通貨選択型）円コース（毎月決算型）	4,314,823円
国際・キャピタル 日本株式オープン（通貨選択型）マネー・プール・ファンドIX（１年決算型）	2,655,389円
世界投資適格債オープン（通貨選択型）ブラジル・レアルコース（毎月決算型）	2,234,005円
米国ハイ・イールド債オープン（通貨選択型）資源国通貨バスケットコース（毎月決算型）	1,608,548円
世界投資適格債オープン（通貨選択型）インドネシア・ルピアコース（毎月決算型）	1,013,875円
トレンド・アロケーション・オープン	997,308円
米国エネルギーＭＬＰオープン（毎月決算型）為替ヘッジなし	996,215円
米国エネルギーＭＬＰオープン（毎月決算型）為替ヘッジあり	996,215円
世界投資適格債オープン（通貨選択型）豪ドルコース（毎月決算型）	995,161円
マネー・プール・ファンドIV	976,551円
米国ハイ・イールド債オープン（通貨選択型）豪ドルコース（毎月決算型）	769,078円
米国ハイ・イールド債オープン（通貨選択型）インドネシア・ルピアコース（毎月決算型）	554,401円
米国ハイ・イールド債オープン（通貨選択型）米ドルコース（毎月決算型）	119,857円
エマージング社債オープン（毎月決算型）為替ヘッジなし	99,682円
エマージング社債オープン（毎月決算型）為替ヘッジあり	99,682円
国際 アジア・リート・ファンド（通貨選択型）円コース（毎月決算型）	99,602円
国際 アジア・リート・ファンド（通貨選択型）為替ヘッジなしコース（毎月決算型）	99,602円
国際 アジア・リート・ファンド（通貨選択型）インド・ルピーコース（毎月決算型）	99,602円
国際 アジア・リート・ファンド（通貨選択型）インドネシア・ルピアコース（毎月決算型）	99,602円
国際・キャピタル 日本株式オープン（通貨選択型）ユーロコース（毎月決算型）	99,592円
国際・キャピタル 日本株式オープン（通貨選択型）ユーロコース（１年決算型）	99,592円
国際・キャピタル 日本株式オープン（通貨選択型）円コース（１年決算型）	99,592円
国際・キャピタル 日本株式オープン（通貨選択型）ブラジル・レアルコース（毎月決算型）	99,592円
国際・キャピタル 日本株式オープン（通貨選択型）米ドルコース（毎月決算型）	99,592円

国際・キャピタル 日本株式オープン（通貨選択型）インドネシア・ルピアコース（毎月決算型）	99,592円
国際・キャピタル 日本株式オープン（通貨選択型）メキシコ・ペソコース（毎月決算型）	99,592円
国際・キャピタル 日本株式オープン（通貨選択型）豪ドルコース（１年決算型）	99,592円
国際・キャピタル 日本株式オープン（通貨選択型）豪ドルコース（毎月決算型）	99,592円
国際・キャピタル 日本株式オープン（通貨選択型）円コース（毎月決算型）	99,592円
国際・キャピタル 日本株式オープン（通貨選択型）ブラジル・レアルコース（１年決算型）	99,592円
国際・キャピタル 日本株式オープン（通貨選択型）米ドルコース（１年決算型）	99,592円
国際・キャピタル 日本株式オープン（通貨選択型）メキシコ・ペソコース（１年決算型）	99,592円
国際オルタナティブ戦略 ＱＴＸ－ウィントン・アルファ・インベストメント・オープン（円ヘッジ）成長型	99,562円
国際オルタナティブ戦略 ＱＴＸ－ウィントン・アルファ・インベストメント・オープン（円ヘッジ）分配型	99,562円
ＵＳ短期ハイ・イールド債オープン 為替プレミアムコース（毎月決算型）	99,562円
国際オルタナティブ戦略 ＱＴＸ－ウィントン・アルファ・インベストメント・オープン（円ヘッジなし）成長型	99,562円
国際オルタナティブ戦略 ＱＴＸ－ウィントン・アルファ・インベストメント・オープン（円ヘッジなし）分配型	99,561円
先進国高利回り社債ファンド（為替ヘッジなし・早期償還条項付）２０１５－０３	99,523円
先進国高利回り社債ファンド（為替ヘッジあり）２０１５－０３	99,523円
先進国高利回り社債ファンド（為替ヘッジなし）２０１５－０３	99,523円
世界投資適格債オープン（通貨選択型）米ドルコース（毎月決算型）	49,966円
世界投資適格債オープン（通貨選択型）中国元コース（毎月決算型）	28,349円
米国ハイ・イールド債オープン（通貨選択型）中国元コース（毎月決算型）	19,977円
米国ハイ・イールド債オープン（通貨選択型）トルコ・リラコース（毎月決算型）	19,961円
米国ハイ・イールド債オープン（通貨選択型）メキシコ・ペソコース（毎月決算型）	19,925円
国際・キャピタル 日本株式オープン（通貨選択型）インドネシア・ルピアコース（１年決算型）	9,986円
国際・キャピタル 日本株式オープン（通貨選択型）ロシア・ルーブルコース（１年決算型）	9,986円
国際・キャピタル 日本株式オープン（通貨選択型）ロシア・ルーブルコース（毎月決算型）	9,986円
国際・キャピタル 日本株式オープン（通貨選択型）トルコ・リラコース（毎月決算型）	9,960円
国際・キャピタル 日本株式オープン（通貨選択型）トルコ・リラコース（１年決算型）	9,960円
国際・キャピタル 日本株式オープン（通貨選択型）中国元コース（１年決算型）	9,960円
国際・キャピタル 日本株式オープン（通貨選択型）南アフリカ・ランドコース（毎月決算型）	9,960円
国際・キャピタル 日本株式オープン（通貨選択型）中国元コース（毎月決算型）	9,960円
国際・キャピタル 日本株式オープン（通貨選択型）南アフリカ・ランドコース（１年決算型）	9,960円
世界CoCosオープン　為替ヘッジなしコース（毎月決算型）	9,953円
世界CoCosオープン　為替プレミアムコース（毎月決算型）	9,953円
世界CoCosオープン　為替ヘッジありコース（毎月決算型）	9,953円
アジアリート戦略オープン（為替ヘッジなし）毎月決算型	9,952円
アジアリート戦略オープン（為替ヘッジあり）毎月決算型	9,952円
アジアリート戦略オープン（為替ヘッジなし）年２回決算型	9,952円
アジアリート戦略オープン（為替ヘッジあり）年２回決算型	9,952円
欧州アクティブ株式オープン（為替ヘッジなし）	4,979円
欧州アクティブ株式オープン（為替ヘッジあり）	4,979円
米国高利回り社債・ブラジル・レアルファンド（毎月決算型）	999円
米国高利回り社債・円ファンド（毎月決算型）	999円
米国高利回り社債ファンド（毎月決算型）	999円
米国成長株オープン	996円
合計	130,172,909円